

西方寺 横浜市港北区新羽町 2586 番地

江戸時代の霊簿（過去帳）の題辞に西方寺は源頼朝の頃、建久年間（1190）に鎌倉の笹目と言う所に「補陀洛山、安養院、西方寺」として創建され、開山は大納言通憲公の息、醍醐覚洞院座主、東大寺の別当であった勝賢僧正であると記されている歴史あるお寺ですが、現在は春(桜、木蓮)、夏(ニッコウキスゲ、アジサイ)、秋(彼岸花、萩)、冬(蠟梅、椿) 四季折々の花を楽しめるお寺として親しまれて多くの方が訪れます。



彼岸花



蠟梅

光明寺 横浜市港北区新羽町 3990

遍照山光明寺として高野山真言宗で明応 5 年(1496)継伝僧都の開創以来のお寺で、金剛界大日如来で真言宗。堂内には不動明王図や欄間には櫂の一枚板彫刻や十二神将図が目を引き、参道の置物を含め彫刻などが楽しめるお寺です。



